

仏教の未来に挑戦するフリーマガジン

# フリースタイルな僧侶たち



第三七号 平成二十七年十月一日発行（隔月一回一日発行） www.freemonk.net

特集

## 僧侶の目から見える 「苦悩」の光景

臨済宗妙心寺派 細川晋輔

マンガお坊さん日和。第15話「さよなら!? みつあきくん(後編)」

コラム「恩送り」 しりとり法話バトル 第10回「途中」

10・11月の仏教イベント情報

37

はじめまして。禅宗である臨済宗妙心寺派僧侶の細川晋輔と申します。

## 僧侶の目から 見える 「苦惱」の光景

細川晋輔

〈臨済宗妙心寺派〉

大切な人との別れ。

今も昔も人生で、そうした苦惱は避けられない。

お坊さんも、それは同じだ。

では、仏教が血肉となつていてお坊さんの目には、その苦惱はどのように見えているのだろう。臨済宗の教えに生きる僧侶が、その光景を語つてくださいった。

私たち臨済宗では少なくとも3年間、禅の専門道場（僧堂）での修行が課せられるのですが、私は縁あつて9年間、大本山・妙心寺で修行をいたしました。

出家の一番の理由は、やはりお寺に生まれたことが大きかつたと言わざるを得ません。確かにお寺に生まれ、お経もそらんじていましめたが、決定的に仏門に入るべききっかけがあつたかといふと、思い当たらないのが正直なところです。

それでも、大学を卒業して修行道場に入門し、禅の修行に身をおくことになり、坐禅や禅問答に明け暮れる日々を過ごしていました。そんな私には同年に入門した同期の修行僧が6人いて、そのう

ちの一人はお寺の生まれではない在家出身の修行僧でした。彼は一般の会社で働いていたのですが、思うところがあつて会社を辞めて、仏門への出家を決意したのでした。そのため彼は出家の動機がはつきりしていて、求めるものが明確。それは彼の修行態度にも大きく現れており、私たちお寺の子たちは大いに刺激を受けました。「自分たちも負けだこうと思います。」

私たち臨済宗では少なくとも3年間、禅の専門道場（僧堂）での修行が課せられるのですが、私は縁あつて9年間、大本山・妙心寺で修行をいたしました。しかし、修行も4年目にに入り、「この一年が終われば、自分のお寺に戻れる」と考えていた、ある日のこと。彼は突然、自分の生涯を自ら閉じてしまつたのです。私たちも、彼のご家族もその理由は全くわかりません。そもそも、彼の死の原因は、自分自身の霊氣を感知取られたのかもしれません。葬儀が終わるとすぐに、何もなかつたかのように、今まで通りの修行を行ふことを嚴命されました。こんな状況でどうやつていつも通りにできるものかと、正直冷たが、老師の言わることに従うしかありません。私たちには、まだ疑問に思いましたが、老師の言わることに

文／細川晋輔 text: Shinrauke Hosokawa

のところは、今まで當たり前のように側にいた彼がいなくなり、そして二度と会うことはできないということだけでした。

修行中の私たちにとって、この状況で、何も行わずに静かに座る時間は、実に厳

しいものがありました。とうに彼のことを考えないようとしても、どうしてもおけばよかつた」、「あの時話していれば」等々次から次へと後悔の念が心の中に浮かんでは、その想いにとらわれてしまふからです。そしてそれはおそらく、私だけではなくおそらく、ただではなかつたと思います。



大切な人を失う。それは苦しい「悪い縁」

私は「悪い縁こそ自分の人生を豊かにする」、そう考えています

をしたり、托鉢に出たりと毎日を過ごしていきましたが、ついこの前まであった彼の姿がないという違和感はおよそ消える気配はありませんでした。それでも、その辛さや悲しみは、目の前のやるべきことに集中している時だけは、いくらか和らいでいることがわかりました。

それから数日たつて気づいたのですが、毎朝老師が唱えているお経の最後には彼の戒名がありました。今となって冷静に考えてみれば、指導者である老師が、誰よりも自分自身、思うところがあつたのではないかと思います。

「悲しい」「悔しい」という想いが完全に消えることはありませんでしたが、悲しんでいるだけ、悔しがっているだけでは何も進まないということは、誰もがわかつっていたように感じました。老師のおつしやつたようにも通りにやつて、自分のやるべきこと、為すべきことを淡々と行う。目の前のことひとつことに一生懸命に取り組む。これこそ、臨済宗のもつとも大切とする禅の教えですが、この時ほど、この重要性を体感できた

ことはないかもしれません。「どうしたらしいのか」という疑問に対する答えは、「この禅の教えの通りにすることかもしれない」という想いを、その時漠然と抱いたのを覚えています。

坐禅を修行の中心に据える禅宗の中でも、臨済宗の特徴は、「公案」を大切にしていることです。

「公案」とは、いわゆる禅問答のことで、動かすことのできない法則や真理のことをいいます。禅の高僧方の言行録を元にした「古則公案」があり、その数は、千をゆうに超えます。例えば「隻手音声（両手を打てばパチンと音が鳴るが、片方の手だけではどんな音が鳴るか？）」というように、故意的に心に疑問の大波を立てることが目的になります。わかりやすく言うと、静かに月が映る湖面に、わざと波を立てて、その波を静めて再び月を見る。同じ月であるが、一度波立ててから見る月が、眞の姿といふことになるでしょうか。

言わば、「波無きところに波を立てる」のが、公案による修行なのです。そして、公案に対する答えは、自分の心の

奥底から出てきたものでなければ意味がない。そのため、公案で心の中に疑問を生みだしたのち、坐禅をして、疑問とかもしない」という想いを、その時漠然と抱いたのを覚えています。

この「古則公案」とは別に、「現成公案」があります。不自然に疑問を起こすのではなく、日常を過ごす中で直面する悩みや苦しみから生じる心の波。例えば、幼い頃に地獄の絵をみて、死後の世界に恐怖を抱いたり、また大切な人やかわいがつていたペットを亡くしてしまったなど。現状がまさに答えの出ない疑問になることをいいます。これらの疑問の大波が静まつた時、初めて「眞の自分」、つまり自分が生きていく上で支えとなる「心の柱」が見えてくるのです。

修行仲間の死。私にとつてはこの出来事が、実に厳しい「現成公案」であり、宗教者の私にとって、大きな公案になつたのです。

それから私は、その「現成公案」に対して、「自分の答え」を出して、「自分の修行を続けたい」と思いました。それまでの修行の理由は、「お寺に生まれたばかりではない。むしろ今のように悪い縁の方が多い

ら」というもので、どこか「やらされている」修行だったと思いません。しかし、あの時から「やりたい、やらなければならぬ」修行へと変わつたのでした。ところがそんなにすぐには、「自分の答え」出すことはできませんでした。「自分の答え」が定まつたのは、それからさらに3年後のことでした。

祖母が亡くなり、遺体を火葬場へ運んだとき、祖母と70年連れ添つた祖父は私にこう言いました。「生きていると良い縁（条件）ばかりではない。むしろ今生き残つた者は、ただただ打ちひしがれます。その死を恨み『悪い縁』だと思います。親の人生を豊かにすることができるのではないか」と。そして、この日から20日あまり。祖父は祖母を追いかけるようにして他界しました。最後に祖父と会わせてくれたのは、私に対する祖母の最後のプレゼントだったと思っています。

生き残つた者は、ただただ打ちひしがれます。その死を恨み『悪い縁』だと思います。親の人生を豊かにすることができるのではないか」と。そして、この日から20日あまり。祖父は祖母を追いかけるようにして他界しました。最後に祖父と会わせてくれたのは、私に対する祖母の最後のプレゼントだったと思っています。





がパツと無くなることはありませんし、それでも自分は進んでいかなければなりません。ではどうしたらいいのでしょうか？

祖父母の死と修行仲間の死。これらの「現成公案」に対する答えは私の中で、あるひとつの仏教の教えに収斂しました。そして、それがまさに「自分の答え」となったのです。その仏教の教えとは、「知恩報恩」。多くの大乗經典に見ることができる教えです。

恩を知つて、恩に報いる。

「ありがとう」も大事だけど、そんなんじやない。亡くなつた方からの恩を知つて、それに報いるために自分が何をするべきか。いつかは尽きる命だからこそ、今ここで何を為すべきか。

それは、今与えられた「生」を充実させていくこと。「生」を充実させることが、間違いなく「死」を充実させる。その悪い縁のおかげで、自分の人生が良くなつたと言えるように、目前の一つ一つの事柄に向き合い、人生を全うしていく。これが「恩に報いる」ということだ——

このように「自分の答え」

が定まつたとき、私の周りに当たり前のように転がっていた「知恩報恩」という佛教の教えが、初めて自分の血と肉になつたと実感しました。生まれた時から身近にあつた「仏教」が、初めて自分の身体に入つてきました、そんな感覚が芽生えました。初めて仏教の教えに感動し、その教えに支えられ、救われていたことを実感することができたのです。

そして、この「知恩報恩」という教えが、私にとつての「心の柱」となつたのでした。佛教は「人は必ず死んでしまう」という苦しみを、皆が等しく持つてゐるといふ苦しみベースの宗教です。しかし、人間は生きていると「いつか死ぬ」ということを忘れてしまいがちです。

そして、突然思い知らされる。大切な人の死という残酷なたちで。人生に苦しんでいなければ、佛教は必要なかもしれません。しかし、悩みや苦しみがない人生を歩んでいる人はいるでしょうか。どうしようもなく辛く悲しい時、自分を救つてくれる真の答えを出せるのは、自分自身しかありません。だからこそ臨

禅では、「坐禅」という手段」を用いて自分自身と向き合い、自分自身から解くのです。自分の血と肉になつたと実感した。生まれた時から身近にあつた「仏教」が、初めて自分の身体に入つてきました、そんな感覚が芽生えました。初めて仏教の教えに感動し、その教えに支えられ、救われていたことを実感することができたのです。それには、慌ただしく過ぎていく毎日の中、心に波立てて考えてみてください。それに、慌ただしく過ぎていく毎日の中、心に波立てて考えてみてください。それに、慌

#### 細川晋輔(ほそかわ・しんすけ)

1979年生まれ。2002年佛教大学人文学部仏教学科卒業後、京都にある妙心寺専門道場にて9年間禪修行。現在、臨濟宗妙心寺派・龍雲寺住職。花園大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程修了。妙心寺派宗議会議員。妙心寺派布教師。臨濟宗妙心寺派東京禪センター副センター長。

の柱」は何ですか？夢でも目標でもない「心の柱」。佛教の教えが、初めて自分の「心の柱」は何なつか——みんなにとつての「心の柱」は何ですか？夢でも目標でもない「心の柱」。佛教の教えが、初めて自分の「心の柱」は何なつか——みんなにとつての「心の柱」は何ですか？夢でも目標でもない「心の柱」。佛教の教えが、初めて自分の「心の柱」が現成していると信じるものです。

# あさかく 日和。

15話

"さよなら(！？)みつあきくん  
—ニウヘン—"  
まんか  
みつざわひろあき



新たな一步へ…つづく!

# Column

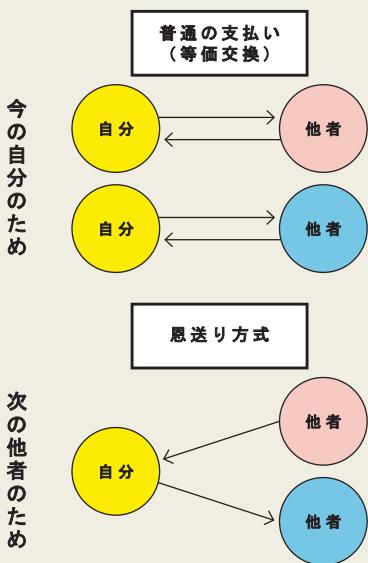
文／辻村優英(つじむら・まさひで)

神戸大学助教

高野山大学密教文化研究所受託研究員

## 受けた恩を、別の人へ送る。 恩が世の中を巡り巡る新しい社会のカタチ

### 〈恩送り〉



みなさんは普段、どのようにお金を使っていますか？スーパーで食材を買ったり、電車に乗りたり、自動販売機でドリンクを買ったりしていると思います。これを等価交換といいます。商品やサービスを自分の手に入るために、それに等しい価値のお金と交換をしてしまいます。もし130円のお金を持つていなかつたら、どんなに喉が渴いていてもドリンクは手に入りません。しかし、あなたより前に利用した人によくて、後の人ためのドリンク代が支払われていたとしたらどうでしょう？喉が渴いて倒れそうなあなたは、たとえ50円しか持っていないなく

ても、前の人のおかげでそのドリンクを手に入れることができます。そしてあなたは、次の人のために50円を支払います。前の人からもらった恩を、次の人につないでいく。それぞれの経済力に合わせてお金を支払っていく。等価交換のように「今の自分のため」に支払うのではなく、「次の他者のため」にお金を払う、それが「恩送り方式」です。これはアメリカの「Karma Kitchen（カルマキッチン）」の活動から着想を得たものです。フリースタイルな僧侶たち主催のイベント【「～（ホニヤララ）をめぐる宗教対話】では恩送り方式を導入しています。

# しりとり法話バトル

第10回

## 途中

お題

審査員：飯村綾理子・中島まほ・後藤美紀  
Judge: Eriko Iimura, Maho Nakajima, Miki Goto

今回の問題は「途中」  
人生、途中で迷ったら仏道にカモン！

お釈迦さまは、苦行を途中でおやめになりました。ですが、「悟り」という、求める結果に向かうことをやめた訳ではなく、

### しりとり法話バトル

ウデに覚えのある僧侶たちが、毎号しりとり形式で出されるお題にのっとって法話をつくり、きびしい審査によって掲載・非掲載のふるいにかけられる、フリースタイル企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価を見るることができますので要チェック！  
[www.freemonk.net](http://www.freemonk.net)

氣になる次回のお題は  
「疑い」

その後、菩提樹の下で瞑想するうちに、悟りにたどり着くことができました。大事なのは、結果をしつかり見据えること。今やっていることが自分のためにならないと判断したら、勇気を持ってやめてしまい、別の道を探しても良いのです。

人は誰でも、何かの途中です。今が輝く途中経過となるよう、全力で生きていきたいものです。

今号の勝者はこの方！

佐山拓郎(さやま・たくろう)  
浄土系単立 天恩山五百羅漢寺住職

昭和のある年の秋彼岸、東京下町の小さなお寺で生まれる。おとめ座のB型。縁あって目黒の羅漢寺の住職となる。「親しみやすいお寺を目指して奮闘中です！」

# EVENT CALENDAR



<p>10月 <b>7</b> 水曜日</p> <p>11月 <b>4</b> 水曜日</p> <p><b>BDKオススメイベント No.1</b> <b>仏教ヨガ講座</b></p> <p>Let's begin ヨガLife ! ヨガで心と身体をととのえましょう !</p> <p>19:00~20:30 500円 定員25名(男女不問) 講師／Yuuka(ガッソ有香・山形県誓願寺浄土宗教師) 着替え持参(ヨガマットはご用意しています) 事前申込必要 お電話、Facebook、または <a href="http://www.bdk.or.jp">http://www.bdk.or.jp</a>まで。 ▶仏教伝道センタービル8階「和」の間 ☎03-3455-5851</p>	<p>10月 <b>22</b> 木曜日</p> <p>11月 <b>26</b> 木曜日</p> <p><b>BDKオススメイベント No.3</b> <b>仏教聖典を初步英語で学ぶ会</b></p> <p>日本人に馴染み深い禅思想を初步英語で学ぶ4ヵ月のプログラムです。英語を通じて、仏教の奥深さに改めて気づかされてしまう。新感覚の英会話レッスンとしてもオススメです !</p> <p>18:00~20:00 500円 定員40名 1回のみの参加も可 講師／ステファン・グレイス氏(親鸞仏教センター嘱託研究員) 事前申込必要 お電話、Facebook、または <a href="http://www.bdk.or.jp">http://www.bdk.or.jp</a>まで。 ▶仏教伝道センタービル8階「和」の間 ☎03-3455-5851</p>
<p>10月 <b>13</b> 火曜日</p> <p>11月 <b>17</b> 火曜日</p> <p><b>BDKオススメイベント No.2</b> <b>働く人のための坐禅会</b></p> <p>仕事帰りに疲れたこころと頭の整理をしませんか ? お一人でも気軽にご参加ください。</p> <p>20:00~21:30(坐禅60分 お茶会20分) 500円 定員30名(男女不問) 講師／阿純章師(天台宗) 事前申込必要 お電話、Facebook、または <a href="http://www.bdk.or.jp">http://www.bdk.or.jp</a>まで。 ▶仏教伝道センタービル7階「縁」の間 ☎03-3455-5851</p>	<p><b>公益財団法人 仏教伝道協会</b> BUKKYO DENDO KYOKAI</p>  <p>〒108-0014 東京都港区芝4-3-14 Tel 03-3455-5851 Fax 03-3798-2758 E-Mail bdk@bdk.or.jp <a href="http://www.bdk.or.jp">http://www.bdk.or.jp</a> f <a href="http://www.facebook.com/bukkyodendokyokai">www.facebook.com/bukkyodendokyokai</a> JR「田町」駅 三田口(西口)より徒歩8分 都営地下鉄 三田線、都営地下鉄 浅草線「三田」駅 A9番出口より徒歩2分</p>

11月  
**8**  
日曜日

**「落語」vs「説法」!? 高座バトル**  
**第1回テーマ「恋」と「嘘」**

一つの高座で、噺家の落語と、お坊さんの説法を一度に楽しんでしまおうという大胆な企画です。出典は定かではありませんが、その昔、説法自慢のお坊さんと話自慢の落語家が、聴衆を前に競い合ったという伝承が…。人間の駄目な部分を笑い飛ばして受け入れる落語と、「自分の思い通りにならないこと（苦）」を受け入れることでむしろイキイキと生きようとする仏教の説法は、昔から庶民の暮らしを明るくする大切な文化だったはずです。平成に蘇る高座バトル、ぜひお楽しみください。

昼公演13:00~15:00 夜公演17:00~19:00 各回3,500円 定員80名(要予約)  
出演／【落語】三遊亭白鳥、桂雀々【説法】ハビネス観音(日蓮宗経王寺住職)、井上広法(浄土宗光琳寺副住職/昼のみ)、大來尚順(浄土真宗本願寺派超勝寺副住職/夜のみ) 主催／「高座バトル」実行委員会  
申込／【昼】<http://ptix.co/1H5ppu2> 【夜】<http://ptix.co/1H5qYYK>  
その他詳細は<http://www.tera-buddha.net/1723/>にて。  
▶神楽坂 昆沙門天善國寺(東京都新宿区神楽坂5-36)  
東京メトロ 有楽町線・南北線「飯田橋」駅より徒歩5分  
※未就学児童入場不可です。

11月  
**7**  
土曜日

**龍雲寺ダンマトーク**  
**『坐禅のすすめ』**

仏教初心者の方も、仏教書をたくさん読んだけれど和尚さんから直接話を聞いてみたい方も。お釈迦様のおしえを身边に感じられる法話会です。今回の講師は全生庵の住職、平井正修師です。全生庵は、山岡鉄舟ゆかりの寺で歴代の首領も参禪しているお寺です。

開場14:00 開演14:30  
無料 定員100名(要予約)  
講師／平井正修師(国泰寺派全生庵住職)  
主催／東京禅センター  
申込／☎03-5779-3800 Fax 03-5779-3801  
メール zen@myoshin-zen-c.jp  
その他詳細は<http://www.myoshin-zen-c.jp>にて。  
▶臨済宗妙心寺派 龍雲寺 本堂(東京都世田谷区野沢3-38-1)  
東急電鉄 東横線「学芸大学」駅より徒歩15分、  
田園都市線「駒沢大学」駅東口より徒歩15分  
※参加費はございませんが、入り口に設置されるおかげさま募金箱にご協力いただけましたら幸いです。募金は東京禅センターの活動に使われていただきます。

# EVENT CALENDAR



11月  
15  
日曜日

## ハナ唄聲明(しょうみょう) 『ハナ唄になるまでが理想の聲明講座』

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本のお能や狂言などは、念佛踊りや聲明（唄うお経）がルーツだそうです。そんな日本に伝来して1,200年の聲明が、あなたのハナからメロディにのって出てくるまでが理想的の超ビギナー向け講座。お寺で声を出すことに興味がある方は、お気軽にどうぞ（修行して認められる“聲明僧”の制度がない浄土真宗僧侶が講師を担当します。みんなでお勧めする浄土真宗ならではのお経を、ゆるーく実際に唱える講座です）。

15:30～17:00 1,000円（フリースタ会員は800円） 定員20名  
講師／山田真悟、福山智昭 主催／フリースタイルな僧侶たち  
申込／<http://www.freemonk.net/events>  
▶浄土真宗本願寺派 桃源山 明覺寺（めいかくじ）  
(京都府京都市下京区新町通正面下る平野町783)  
JR「京都」駅 烏丸口より徒歩5分  
京都市営地下鉄 烏丸線「五条」駅より徒歩5分  
※筆記用具をご持参ください。

京都

10月  
24  
土曜日

## 「～」(ホニヤララ)をめぐる 宗教間対話 #04 「お金」

同じ一つの物事に対する見方は、宗教や世界観によって共通点もあれば違う点もあります。身近な物事について、仏教とキリスト教ではどんな見方をするのでしょうか？ 第4回のテーマは「お金」です。仏教とキリスト教の研究者二人（辻村優英・波勢邦生）が簡単な話題提供をしたあと、皆さんと一緒に対話・交流をしながら「お金」について考えたいと思います。

15:00～17:00  
参加費＝恩送り方式（次回に参加される方のために任意の参加費をお納めください）  
定員8名 話題提供／辻村優英、波勢邦生  
主催／フリースタイルな僧侶たち  
申込／<http://www.freemonk.net/events>  
▶フリースタイルな僧侶たち事務所  
(京都府京都市下京区東若松町795-2 SOLUM 1F C号室)  
JR「京都」駅、京都市営地下鉄 烏丸線「京都」駅より徒歩10分  
※申込時にテーマに関する質問などがございましたらお知らせください。

京都

11月  
29  
日曜日

## アラサー僧侶とゆるーく話す会

京都

アラサーの僧侶 数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、お坊さんの謎な生態・仏教の考え方をご興味のある方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？ どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

14:00～16:30  
1,000円（フリースタ会員は800円） 定員10名  
主催／フリースタイルな僧侶たち  
申込／<http://www.freemonk.net/events>  
▶京町家 さいりん館 室町二条（京都府京都市中京区冷泉町65）  
京都市営地下鉄 烏丸線「烏丸御池」駅2番出口より徒歩5分

11月  
1  
日曜日 ► 10  
火曜日

## 十夜フェス -JYU YA FES-

京都

どこか日常から少し離れたところにある宗教と芸術。しかし、これらは本来、日常に寄り添う優しい存在であり、質を同じくするものなのかもしれません。“念佛体験”を中心とした宗教×芸術フェス『十夜フェス』では、2つの世界を重ねることで、それぞれをより身近に感じ、自分の直観と向き合うきっかけとなる幻想的な世界を描きます。京都市内の浄土宗を中心とした5つのお寺を舞台に、学生とお坊さんが本気で創る10日間。今年も、念佛が止まらない。

13:00～21:00（会場によって開催期間・開催時間が異なります）  
500円（10日間すべての会場でご利用になります）  
主催／十夜フェス実行委員会 協力／龍岸寺、長圓寺、法宣寺、三寶寺、誓願寺、いのフェス実行委員会 後援／三条会商店街、KBS京都、全国浄土宗青年会、仏教伝道協会、彼岸寺、フリースタイルな僧侶たち  
その他詳細は<http://ju-ya.jp/>、または<https://goo.gl/EKkIGg>にて。  
▶三寶寺11/1(日)～3(火)、長圓寺11/3(火)～4(水)、法宣寺11/4(水)、  
龍岸寺11/5(木)～8(日)、誓願寺11/9(月)～10(火)  
〈地図〉<https://goo.gl/24Y4HB>

*May Buddha  
Bless You !!*



### 編集後記

「仏教の中級編にナビゲートしてほしい」。弊誌の読者、とりわけイベントにご参加くださった方々から、こうした声が聞こえてくるようになった。仏教の入り口は増えてきた。でも、もっと深く知りたいと思ったときに、どうしていいか分からぬという。

そうした声に応えたい。そう思つて企画したのが、今号の特集だつた。

もう一つの柱に、仏教のテーマである「苦悩」を据えた。歌の「歌詞」に支えられることがあるように、自身の歩む「仏道」に支えられて僧侶は生きている。こうした僧侶の目から見える苦悩の光景を、僧侶自身に語つていただく中で、前述の声に応えられたらと思つたのだった。

仏教は、人生の中で避けられない苦悩の一つに「愛別離苦」があると説く。大切な人との別れ。人だけではない。もの、立場、場所、ペット…。そのときの苦悩を、僧侶は仏教を通して、どのように捉えているのか。記事の内容は極私的だが、同様の苦悩を経験された方もおられると思う。一人でもいい。今号を通して、ご自身に重ねて、少しでも心が軽くなつていただけたら幸甚です。

末筆ながら、ご多忙な中、特集記事を寄稿してくれた細川晋輔さんをはじめ、今号の発行のためにご苦労くださいました。すべての方に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

代表  
若林唯人  
**フリースタイルな僧侶たち**

## ■協賛のご報告■

本誌発行にあたり、ご支援いただいたみなさまに厚く御礼を申し上げます。  
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

安心院(京都府八幡市 浄土宗)／安楽寺(京都府南丹市 浄土宗)／石尾山弘法寺(大阪府和泉市 真言宗)／円光寺(東京都台東区 臨済宗妙心寺派)／延命寺(大阪府堺市堺区 浄土宗)／圓融寺(東京都目黒区 天台宗)／宣雲寺(東京都江東区 臨済宗)／吉祥寺(山口県萩市 浄土宗)／九品寺(京都府京都市南区 浄土宗)／教安寺(福岡県福津市 浄土宗)／慶藏院(三重県伊勢市 浄土宗)／光熙院(東京都台東区 浄土宗)／光熙寺(大阪府大阪市東淀川区 浄土真宗本願寺派)／光徳寺(福岡県みやま市 浄土真宗本願寺派)／光明院・田中医院(京都府京都市中京区 浄土宗西山禪林寺派)／光明寺(奈良県吉野郡 浄土真宗本願寺派)／五百羅漢寺(東京都目黒区)／金剛寺(京都府京都市東山区 浄土宗)／西明寺(兵庫県尼崎市 浄土宗)／西楽寺(京都府京都市伏見区 浄土宗)／西林寺(大阪府泉南郡 浄土宗)／淨榮寺(滋賀県東近江市 浄土宗)／正覚寺(青森県青森市 浄土宗)／淨元寺(兵庫県尼崎市 浄土真宗本願寺派)／性高院(愛知県名古屋市千種区 浄土宗)／称讚寺(新潟県長岡市 真宗大谷派)／正善寺(兵庫県伊丹市 浄土宗)／正法寺(京都府京都市東山区 時宗)／勝樂寺(東京都町田市 浄土宗)／正蓮寺(静岡県伊豆の国市 真宗大谷派)／信覚寺(福岡県朝倉郡 浄土真宗本願寺派)／新善光寺(北海道札幌市中央区 浄土宗)／瑞聖寺(東京都港区)／瑞生寺(静岡県浜松市中区 曹洞宗)／崇興寺(広島県福山市 浄土真宗本願寺派)／崇福寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善願寺(滋賀県甲賀市 浄土宗)／善道寺(北海道札幌市豊平区 浄土宗)／大圓寺(東京都目黒区 天台宗)／臺鏡寺(大阪府枚方市 浄土宗)／檀王法林寺(京都府京都市左京区 浄土宗)

土宗)／潮音寺(東京都大島町 浄土宗)／超覚寺(広島県広島市中区 真宗大谷派)／長壽院(東京都台東区 浄土宗)／梅窓院(東京都港区 浄土宗)／法岸寺(静岡県静岡市清水区 浄土宗)／宝華寺(北海道函館市 真宗大谷派)／寶松院(東京都港区 浄土宗)／宝泉寺(愛知県津島市 浄土宗西山禪林寺派)／法善寺(大阪府大阪市中央区 浄土宗)／法然院(京都府京都市左京区)／法華寺(京都府亀岡市 日蓮宗)／本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区 天台宗)／無量光寺(鳥取県鳥取市 浄土宗)／薬師院(大阪府岸和田市 真言宗)／陽岳寺(東京都江東区 臨済宗妙心寺派)／龍雲寺(東京都世田谷区 臨済宗妙心寺派)／龍岸寺(京都府京都市下京区 浄土宗)／綠泉寺(東京都台東区 浄土真宗東本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)／株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)／株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)／株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)／株式会社 作島(京都府京都市下京区)／株式会社 トラベルサロン(大阪府大阪市中央区)／京都坊主BAR(京都府京都市中京区)／茶坊えにし(東京都台東区)／寺院コム(京都府京都市左京区)／大正大学(東京都豊島区)／浜屋株式会社(兵庫県姫路市)／ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区)

(五十音順)

## フリースタイルな僧侶たちとは

●「仏教＝葬式」だとあなたは思っていませんか？しかし、経典をひもといてみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知識を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。●人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向合うことによってこそ、これから社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。●「フリースタイル」という言葉をかけたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとしてのことです。●本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。●私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることもあるかもしれません

れません。その際には、皆さまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これから時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願ひいたします。●志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

### サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中

協賛年会費：5,000円(個人)／30,000円(法人)

サポーターズ・クラブのみなさまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943  
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください  
・Telでのお問い合わせ ☎050-5583-4330  
・Faxでのお問い合わせ ☎050-3730-9864  
・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

### 冬用 各宗派衣価格(税込)

● 布袍化織地	18,800円より	● 黒直綴化織地	27,000円より
● 改良衣化織地	17,500円より	● 白衣テトロンウール	9,950円より
● 間衣化織地	17,500円より	● 白衣高級メガーナ京仕立	16,800円より
● 黒衣化織地	30,500円より	● 足袋	950円より

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面屋上ル(西本願寺前店)  
☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

定休日 水曜日

営業時間:11:30～14:00/17:00～22:00

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1





**Hama**ya

浜屋は  
関西最大級の  
お仏壇・お仏具・  
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



**浜屋**

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は  
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル  
**0120-1616-94**  
●受付時間／午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

■奈良王寺店/☎(0745)31-2211代 ■尼崎市役所前店/☎(06)6414-3900代  
 ■奈良生駒店/☎(0743)83-2211代 ■尼崎店/☎(06)6413-2211代  
 ■岸和田店/☎(072)445-2211代 ■宝塚店/☎(079)83-4500代  
 ■堺鳳店/☎(072)261-2211代 ■西宮店/☎(0798)51-2211代  
 ■藤井寺店/☎(072)954-2211代 ■西宮駅前店/☎(0798)34-2280代  
 ■駒川店/☎(06)6709-2211代 ■芦屋店/☎(0797)35-1194代  
 ■八尾久宝寺店/☎(072)925-2200代 ■三田店/☎(079)559-2211代  
 ■中環東大阪店/☎(06)6783-2211代 ■神戸本店/☎(078)371-2211代  
 ■寝屋川本店/☎(072)829-2211代 ■新長田店/☎(078)621-2211代  
 ■枚方家具店地店/☎(072)836-2211代 ■明石店/☎(078)927-2211代  
 ■高槻店/☎(072)683-2211代 ■古川店/☎(079)426-2211代  
 ■茨木店/☎(072)622-2211代 ■高砂店/☎(079)443-2211代  
 ■箕面店/☎(072)726-5522代 ■堺路本店/☎(079)282-2211代  
 ■豊中熊野店/☎(06)6853-2220代 ■福崎店/☎(0790)22-2211代  
 ■豊中店/☎(06)6848-2211代 ■網干店/☎(079)272-2211代  
 ■川西店/☎(072)759-2201代 ■龍野店/☎(0791)62-2235代  
 ■北伊丹店/☎(072)780-5211代 ■赤穂店/☎(0791)45-2211代  
 ■伊丹店/☎(072)775-2211代 ■山崎店/☎(0790)62-5171代  
 ■東園田店/☎(06)4960-4000代 ■浜屋漆工芸館/☎(079)293-2211代

■本社/姫路市南歎町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

大切な人を亡くした若者の  
**つどい・いっぽ**

お父さん、お母さん、友達、先輩…大切な人を亡くした人同士が出会い対話する場です。「他に亡くした人の想いを聞きたい」「自分の気持ちを整理したい」そんな気持ちに応える機会にしたいと思います。

この事業は京都府自殺対策事業補助金を受けて開催しています。

**日時** 毎月第三日曜日開催 | am10:00~pm4:00

**場所** 京都市内にて ※詳細は参加者の方にお知らせします。

**対象** 病気・自殺・災害・事故等によって自分にとって大切な人を亡くした 15~30 歳ぐらいまでの人が

**申込** ☎ 090-6116-5680 または ✉ info@live-on.me まで

備考: 参加費無料 初回は開催 3 日前の木曜日



<http://www.live-on.me/>

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

# 心といのちの電話相談室

## ☎ 03-3436-6823

相談受付: 毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしください。

### 『心といのちの電話相談室』の特徴

- 研修を受けたお坊さん、  
お寺の奥さんがお話を伺います
- 多彩なご相談に対応します
- 周囲の方もご相談ください

### 『心といのちの電話相談室』の約束

- 秘密は必ず守ります
- 勧誘はしません
- 無料でお受けします

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

### 『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内  
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp>